

JCBA

No.180 Sep. 2023

Japan Customs Brokers Association



CONTENTS

- 2 関税局幹部の紹介
- 5 第3回通関士セミナーの開催
- 7 FFFAI（インド貨物運送業者協会連合会）とのMOU締結
- 9 ダイバーシティ推進部会ワーキングチーム（WT）会合の開催
- 10 ダイバーシティ推進のためのポスター（原案）の選定等
- 12 各通関業会定時総会の開催
- 14 密輸撲滅キャンペーン
- 16 名古屋通関業会女性通関士会議の開催
- 18 通関業会だより
- 21 各通関業会業務報告



関税局幹部の紹介



関税局長 **江島 一彦**
えじま かずひこ

- 平成 2 年 4 月 大蔵省入省（国際金融局調査課）
- 26年 7 月 主税局調査課長
- 27年 7 月 主計局主計官兼主計局総務課
- 30年 7 月 大臣官房文書課長
- 令和元年 7 月 内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）
- 2 年 7 月 大臣官房審議官（主税局担当）
- 4 年 6 月 会計センター所長兼財務総合政策研究所長
- 5 年 7 月 現職に就任



大臣官房審議官 **山崎 翼**
やまざき よく

- 平成 3 年 4 月 大蔵省入省（銀行局総務課）
- 27年 7 月 主計局主計官（内閣、復興、外務、経済協力係担当）
- 28年 6 月 関税局関税課長
- 29年 7 月 大臣官房参事官（関税局関税課担当）
- 30年 7 月 関税局総務課長
- 令和元年 6 月 輸出入・港湾関連情報処理センター（株）専務取締役
- 4 年 6 月 現職に就任



大臣官房参事官
兼大臣官房審議官
(関税局担当)

うちの ようじろう
内野 洋次郎

平成 4 年 4 月 大蔵省入省 (銀行局総務課)
11 年 7 月 名古屋国税局総務部総務課長
21 年 4 月 徳島県商工労働部長
27 年 7 月 主計局給与共済課長
28 年 6 月 主計局主計官 (防衛係担当)
令和元年 7 月 英国王立国際問題研究所客員研究員
3 年 7 月 大臣官房審議官 (国際局担当)
5 年 7 月 現職に就任



総務課長 **ならい こう**
奈良井 功

平成 7 年 4 月 大蔵省入省 (関税局企画課)
25 年 7 月 内閣法制局参事官 (第三部)
30 年 7 月 関税局管理課長
令和 2 年 7 月 関税局業務課長
3 年 7 月 国税庁長官官房会計課長
5 年 7 月 現職に就任



関税局業務課長 **やの たくし**
箭野 拓士

- 平成11年 4月 大蔵省入省（関税局国際機関課）
- 12年12月 関税局国際調査課
- 13年 1月 関税局調査課
- 13年 6月 米州開発銀行職員
- 21年 8月 人事院事務総局人材局交流派遣専門員
（東京海上日動火災保険株式会社）
- 24年 8月 国際復興開発銀行スペシャリスト
（公共部門資金管理）
- 30年 7月 アフリカ開発銀行理事
- 令和 3年 7月 カジノ管理委員会事務局総務企画部総
務課長
- 5年 7月 現職に就任

第3回通関士セミナーを開催

(一社)日本通関業連合会は、去る6月13日(火)、「日本産酒類の輸出促進及びEPA活用支援ツールの紹介について」と題し“第3回通関士セミナー”を開催しました。

本セミナーは、財務省関税局業務課のご支援を頂戴し、国税庁課税部酒税課輸出促進室、経済産業省通商政策局経済連携課及び東京共同会計事務所から講師をお招きし、420名近くの皆様からお申し込みをいただき、当日は310名余りの皆様に参加されました。

近年、我が国ではEPAを活用した貿易の拡大、とりわけ我が国からの輸出拡大が期待されていること

から、当連合会では、輸出入手続の専門家である通関士の皆様を対象として、財務省関税局業務課の全面的なご支援のもと、昨年より我が国の輸出重点品目にフォーカスした通関士セミナーを開催してきたところです。

第1回2022年6月8日(水)

「通関士として知っておきたいメガEPAの活用方法(輸出編)」

第2回2023年2月24日(金)

「農水産品に関するEPAの利用について」



国税庁 酒税課 輸出促進室 課長補佐(国際交渉担当) 阪本光一様



経済産業省 通商政策局 経済連携課 係長 大滝泰史様



EPA活用支援ツールについて詳しくご説明いただいた
東京共同会計事務所 江良泉様、入江知佳様



主催者を代表して挨拶する
日本通関業連合会 専務理事 今野孝一

セミナー終了後に実施したアンケートでは、ご回答いただいた皆様の約98%から“とても参考になった”及び“参考になった”との評価を頂き、大変有意義なセミナーとなりました。

当連合会では、これからも皆様のご期待にお応えすべく、通関士の専門性向上に向けた支援事業のより一層の充実を図って参りたいと考えておりますの

で、引き続き、ご支援・ご協力をいただければ幸いです。

本セミナーの開催に当たり、多大なるご支援を賜りました財務省関税局、国税庁、経済産業省及び東京共同会計事務所の皆様に対しまして、あらためまして心より御礼を申し上げます。

【セミナー概要】 敬称略

第1部

日本産酒類の輸出促進に向けた国税庁の取組について

- ①酒類産業の現況
 - ②国税庁による日本産酒類の輸出環境整備
 - ・酒類に係る国際交渉結果
 - ・各国・地域の規制状況及び通関上の課題
- (講師) 国税庁酒税課輸出促進室

第2部

輸出促進のためのEPA活用支援ツールの紹介及び活用方法

(講師) 経済産業省通商政策局経済連携課、東京共同会計事務所

FFFAI (インド貨物運送業者協会連合会)と MOUを締結しました

2023年6月9日(金)、インドのニュー・デリーで開催されたFFFAI (Federation of Freight Forwarders' Associations in India: インド貨物運送業者協会連合会) ダイヤモンド・ジュビリー・ファンクション (FFFAI創立60周年記念式典) に(一社)日本通関業連合会の岡藤正策会長が招待されました。

FFFAIは、インド全国から集まった24の加盟団体の頂点に立つ団体であり、5,000を超える通関業者及び貨物運送業者(100万人以上を雇用)を代表する、インドの国際物流全体の約90%を取り扱う団体です。

式典には、インドの閣僚をはじめとしてインド全

国及び海外から多数の関係者が参加しました。

式典に先立ち、「通関業者のベスト・プラクティスについて」と題するパネルディスカッションが行われ、岡藤会長がパネリストの一人として壇上に上がり、国際間におけるシステム統合によるリスク軽減や透明性向上などについて意見を述べました。

また、FFFAIのSHANKAR SHINDE会長と当連合会の岡藤正策会長との間でMOU (Memorandum of Understanding: 覚書) に署名・交換されました。

MOUの内容は、情報交換、教育・研修等への講師の相互派遣、国際会議等における協力といった3本の柱で構成されています。



MOUに署名する
Shankar Shinde氏(左)と岡藤正策会長(右)



MOUを交換する
Shankar Shinde氏(左)と岡藤正策会長(右)



パネルディスカッションで発言する岡藤正策会長



パネルディスカッションに耳を傾ける参加者



FFFA執行委員会メンバーとの記念写真
写真中央：岡藤正策会長



パネルディスカッション参加者（モデレーター、パネリスト）
と主催者との記念写真
写真右：岡藤正策会長



インドTV局のインタビューに応じる岡藤正策会長

COVER REGULARS

Air and sea cargo providers coordinate to facilitate optimised transportation

Saikat Chakraborty, Executive Corporate Advisor, Haskyts Roadline Express, believes that air and sea cargo can coexist and that combining the two will help to manage customer more efficiently and effectively.

Multi-modal transportation, which includes air and marine freight, is critical for achieving efficient logistics

Saikat Chakraborty
Executive Corporate Advisor
Haskyts Roadline Express

air freight differs significantly from that of maritime cargo. Air freight is faster and more reliable, but it is also more expensive, whereas sea freight is low cost but has a longer transit time. The best way of arranging air and marine freight is coordinating critical data and then, packing right. Transportation. Cargo are delivered by air and sea in most types of packaging. The packing style must be changed depending on the mode of transportation.

Best Management Natural Disasters and other unforeseen events may occur, preventing scheduled transport. As a result, adequate risk management in terms of cargo delivery date and time, freight cost, insurance, and other charges should be considered.

Communication between air and sea goods are handled by separate teams, communicating with the person in charge is critical. Because it is not fully ready world of more from departure to arrival by sea, it is critical to develop a situation in which good communication is always maintained. Furthermore, a robust cooperation with the current management often fails for air traffic and the port management structure for sea transportation is required.

Best Efficiency There is a close relationship between air and sea cargo. Both modes of transportation have advantages, but the most cost-effective way must be chosen. Freight forwarding can be done efficiently while achieving optimum by determining the appropriate combination of air and sea freight.

World Economic Organization (WEO) believes: The WEO continues to focus on risk management to promote both safety and ease of international trade, ensuring seamless transportation and increased customer value when air and sea cargo are used. The advent of white manufacturing centres and sustainable manufacturing systems, for example, will result in additional efficiency advantages in the handling of air and sea goods.

Future Trends
We believe that air and sea cargo coexist and that merging the two will allow us to handle problems more efficiently and effectively.

The global EC market has been growing in recent years, as has demand for air and sea freight.

Multi-modal transportation, which includes air and marine freight, is critical for achieving efficient logistics. We predict that in the future, efforts will be made to facilitate between air and sea freight while optimising transportation routes based on distance to achieve time, cost, and other transportation considerations as one of the factors that are significantly added to the growth of international logistics. We predict that in the future, there will be more focus on demand for shorter lead times from order receipt to production and distribution, as well as lower logistics costs. We have to think about transportation from the perspective of well-to-well to create an exchange efforts that cut CO2 emissions and contribute to zero emissions, not just through multi-modal transportation that combines air and sea freight but also through the use of trucks and trains.

Expansion of the EPC, for example, will allow for more and broader trade, which is predicted to boost cargo transportation volume, including air, sea, and big data. It will be necessary to consider management with regard to the expansion of vessels and infrastructure in the shipping industry, user interfaces, and the emergence of new services.

Enhanced people share
Although air and sea freight are distinct modes of transportation, we believe they complement one another and that having an integrated supply chain can improve transportation speed, accuracy and efficiency. The introduction of multi-modal transportation, which includes air and sea freight, will improve transportation speed and allow the transfer of high volumes of cargo. Air and sea cargo transportation routes and systems are abstract. However, an integrated information management system will allow for cargo tracking and management throughout, by constantly monitoring the status of both air and marine goods. It will be feasible to verify identity and address concerns in the supply chain.

Improving cargo storage, handling and quality control efforts, as well as automating new transportation methods requiring novel technology, are predicted to boost supply chain efficiency and lower costs. Each air and sea freight has its own set of standards, which might cause problems during delivery. As a result, uniform standards must be established. The collaboration will make freight costs, handling and management easier.

COVER REGULARS

July 2023

インド物流誌CARGO INSIGHT July'23 Editionに掲載された記事

ダイバーシティ推進部会 ワーキングチーム(WT) 会合の開催

令和5年6月26日(月)、ダイバーシティ推進部会ワーキングチーム(WT)の会合が開催されました。

これまでのワーキングチーム(WT)会合は、コロナ禍の影響等もあってオンラインでの開催でしたが、今回は、連合会側から岡藤会長、渡辺ダイバーシティ推進部会長、須藤ダイバーシティ推進委員、そして各地区からワーキングチーム委員の皆様にご出席をいただき、対面での開催となりました。

今回の会合では、通関業界におけるダイバーシティ推進の啓発を目的としたポスター(原案)の募集を行い、応募があった21作品の中から、最優秀作品等の候補選定やポスターの作成について意見交換を行いました。

また、前回の会合に引き続き、「ダイバーシティ

推進部会のアクションプラン」における具体的な活動を行っていくための意見交換を行い、通関業界として目指す方向性や目標を示した「ミッション・ビジョン・バリュー」に沿った活動を行っていくこととしています。



通関業界におけるダイバーシティ推進のための ポスター(原案)の選定等

通関業界におけるダイバーシティ推進の啓発を目的としたポスター(原案)について、各地区通関業会の会員店社様に募集したところ、個人6者、団体4者から21作品の応募がありました。

応募があった21作品については、ダイバーシティ推進部会・ダイバーシティ推進部会ワーキングチームの各委員及び各地区通関業会の会長・理事長等の

方々から「デザイン」、「メッセージ」、「オリジナリティ」の3点について、それぞれ5段階評価による採点を実施してもらいました。

この採点結果を基にダイバーシティ推進部会等で審査した結果、以下のとおり選定されましたので、ご紹介させていただきます。

🌸 最優秀作品・ポスター制作作品 🌸

海は広く
風は自由に吹き
潮は流れる。

通関業界での
ダイバーシティ推進は、
その自由な海を
航海する私たちに
より豊かな風景を
見せてくれます。

多様性を尊重し
互いの力を
認め合うことで、
新たな航路を
切り開き
未来を創造することが
できます。

通関業界の
プロフェッショナルたちが、
多様性の海を広げ
一緒に冒険しましょう。

通関業界の

未来を切り開く

ミッション (使命)
私たちは質の高い
通関サービスの提供に努めます
私たちは適正な通関手続きは勿論のこと、
ユーザー自給に立つた質の高い通関サービスの提供に努め、
もってサプライチェーンの円滑化と貿易経済の発展に貢献します。

ビジョン (目指す理想の姿)
私たちは皆から一緒に働きたいと思われる
魅力溢れる業界を目指します
通関業で働く一人ひとりが個として尊重され、持てる能力を最大限に発揮し、
皆から一緒に働きたいと思われる魅力溢れる業界を目指します。

バリュー (行動基準、価値観)

- 個を尊重し、お互いを認め合い、助け合う
- スキルアップ、レベルアップに努め、人間的にも成長を目指す
- オープンでフェアな組織運営と働きやすい環境づくり
- 通関業の未来を切り開くのはヒトであり、成長意欲にあふれ自立した人材を育成する
- 高い倫理観と使命感を持って公平・公正に行動する

(株)築港 奥野日菜様

優秀作品

たいせつなのは
よりそうこと
うけいれま
せかいをひろげま
いきいきかがやこう

ミッション (使命)
・私たちは質の高い通関サービスの提供に努めます
・私たちは適正な通関手続きは勿論のことユーザー目線に立った質の高い通関サービスの提供に努め、もってサプライチェーンの円滑化と貿易経済の発展に貢献します。

ビジョン (目指す理想の姿)
・私たちは皆から一緒に働きたいと思われる魅力溢れる業界を目指します
・通関業で働く一人ひとりが個として尊重され、持てる能力を最大限に発揮し、皆から一緒に働きたいと思われる魅力溢れる業界を目指します。

バリュー (行動基準、価値観)
・個を尊重し、お互いを認め合い、助け合う
・スキルアップ、レベルアップに努め、人間的にも成長を目指す
・オープンでフェアな組織運営と働きやすい環境づくり
・通関業の未来を切り開くのはヒトであり、成長意欲にあふれ自立した人材を育成する
・高い倫理観と使命感を持って公平・公正に行動する

東京通関業会本関通関協議会HS女性部会様

ミッション (使命)
・私たちは質の高い通関サービスの提供に努めます
・私たちは適正な通関手続きは勿論のことユーザー目線に立った質の高い通関サービスの提供に努め、もってサプライチェーンの円滑化と貿易経済の発展に貢献します。

ビジョン (目指す理想の姿)
・私たちは皆から一緒に働きたいと思われる魅力溢れる業界を目指します
・通関業で働く一人ひとりが個として尊重され、持てる能力を最大限に発揮し、皆から一緒に働きたいと思われる魅力溢れる業界を目指します。

バリュー (行動基準、価値観)
・個を尊重し、お互いを認め合い、助け合う
・スキルアップ、レベルアップに努め、人間的にも成長を目指す
・オープンでフェアな組織運営と働きやすい環境づくり
・通関業の未来を切り開くのはヒトであり、成長意欲にあふれ自立した人材を育成する
・高い倫理観と使命感を持って公平・公正に行動する

個々の多様性を理解して
性別や障害にとられない
多様な働き方!
DIVERSITY!

三井倉庫(株)関東支社 上島ゆり様

MISSION (使命)
・私たちは質の高い通関サービスの提供に努めます
・私たちは適正な通関手続きは勿論のことユーザー目線に立った質の高い通関サービスの提供に努め、もってサプライチェーンの円滑化と貿易経済の発展に貢献します。

VISION (目指す理想の姿)
・私たちは皆から一緒に働きたいと思われる魅力溢れる業界を目指します
・通関業で働く一人ひとりが個として尊重され、持てる能力を最大限に発揮し、皆から一緒に働きたいと思われる魅力溢れる業界を目指します。

バリュー (行動基準、価値観)
・個を尊重し、お互いを認め合い、助け合う
・スキルアップ、レベルアップに努め、人間的にも成長を目指す
・オープンでフェアな組織運営と働きやすい環境づくり
・通関業の未来を切り開くのはヒトであり、成長意欲にあふれ自立した人材を育成する
・高い倫理観と使命感を持って公平・公正に行動する

(株)フジトランスコーポレーション 和田典子様

◆ 各通関業会定時総会の開催 ◆

門司通関業会 令和5年度定時総会の開催

令和5年7月19日（水）、JR九州ステーションホテル小倉において、会員181店社のうち委任状提出店社を含む149店社の出席を得て、門司通関業会定時総会が開催されました。

本年度は、一般社団法人日本通関業連合会の岡藤会長と今野専務理事に来賓として出席いただきました。

総会では、会長あいさつの後、岡藤連合会会長のあいさつと連合会が重点的に取り組んでいる事柄についての説明がありました。

その後、野畑会長が議長となり、

第1号議案 令和4年度会務報告に関する件

第2号議案 令和4年度収支決算報告に関する件
第3号議案 令和4年度剰余金処分(案)に関する件
第4号議案 令和5年度事業計画(案)に関する件
第5号議案 令和5年度収支予算(案)に関する件
第6号議案 令和5年度役員改選(案)に関する件
の6議案について審議が行われ、いずれも承認されました。

総会後の懇談会では、末永広門司税関長はじめ税関幹部の方に多数の出席をいただき、会員との懇談・意見交換が行われ、盛会のうちに終了しました。



野畑会長のご挨拶



岡藤会長のご挨拶



ご挨拶される末永門司税関長



総会の風景

長崎通関業会 令和5年度定時総会の開催

- ・ 会 名：第59回 長崎通関業会定時総会
 - ・ 日 時：令和5年7月19日（水）
午後2時10分～同時50分
 - ・ 場 所：サンプリエール 「シェーナ」
 - ・ 出席状況：出席者52名（委任状18名）
- ・ 議 案
第1号議案 令和4年度事業報告に関する件
第2号議案 令和4年度収支決算に関する件
第3号議案 令和4年度剰余金処分(案)に関する件
第4号議案 令和5年度事業計画(案)に関する件
第5号議案 令和5年度収支予算(案)に関する件
各議案は全て原案どおり承認されました。



密輸撲滅キャンペーン

酷暑の中、密輸撲滅キャンペーン実施—函館通関業会—



室蘭市中島神社蓬莱殿前に集う税関及び通関業会メンバー

函館通関業会は、8月4日(金)に「密輸撲滅キャンペーン」を室蘭市において実施しました。

室蘭市の実施する「夏の暴力追放運動の啓発活動」への協賛・共催として、室蘭税関支署と合同で密輸撲滅キャンペーンを実施しました。

室蘭市中嶋神社境内に室蘭通関業者協議会から4社10名、当会から柳川専務理事、税関から「カスタム君」と職員3名、他に、北海道薬物乱用防止地区協議会、室蘭防犯協会連合会、室蘭警察署等合わせて30名近くが「のぼり」を立て、市民にキャンペーングッズを配付しながら、密輸撲滅への協力、情報提供を呼びかけました。

酷暑が続く北海道でしたが、当日も気温30度超

えと「カスタム君」には大変な気温でしたが、元気いっぱい愛嬌をふりまき子供たちに大人気でした。

会員も積極的に協力を呼びかけ、用意したキャンペーングッズ500個は約30分で配布を終了し、大成功で終わりました。



薬物の恐ろしさに言及する青山室蘭市長



中央 藤原室蘭税関支署長 右端 青山室蘭市長



参加の通関士の皆さん



キャンペーン前の参加団体 挨拶



いざキャンペーンに出発



早速ちびっこに囲まれるカスタム君



キャンペーングッズがなくなってからは撮影会

日本通関業連合会・函館、東京、横浜、名古屋、
大阪、神戸、門司、長崎、沖縄通関業会・会員は、
密輸の撲滅やテロの防止に協力しています。

麻薬・けん銃などの密輸情報は下記へ！

秘密は厳守されます！

税関密輸ダイヤル
(24 時間受付)

シロイ クロイ
0120-461-961

日本通関業連合会・通関業会
情報ダイヤル

03-3508-2535

名古屋通関業会 女性通関士会議の開催

- 1 **開催日時** 令和5年6月29日(木) 09:30~17:30
- 2 **開催場所**
 - 意見交換会 名古屋港湾会館3階第2会議室
 - 見学会 清須城及び麒麟ビール名古屋工場(清州市)
- 3 **参加者** 女性通関士23名(司会担当2名を含む。)
- 4 **会議内容**

09:30~12:00	通関士部会 柴田部長挨拶 自己紹介・意見交換会
12:00~13:00	昼食懇談会
13:00~13:40	見学会会場へ移動(マイクロバス)
13:40~14:45	清須城(見学)
14:55~16:45	麒麟ビール名古屋工場(見学)
16:45~17:30	移動(マイクロバス)・解散(港湾会館)

5 **意見交換会の内容** テーマ:「ダイバーシティの現状と課題」

通関の現場において、ダイバーシティ推進に関し、どのように取り組んでいるか、またどのような職場環境の変化が起こっているかを共有するとともに、身近に起きている課題についても共有し、解決策のためのアイデアや意見を交換し、これからのダイバーシティの在り方を考えました。

意見交換会の方法は、全体を4グループに分け、

- ①「働く時間の多様化」「働く場所の多様化」「働く環境のアンコンシャス・バイアス」「自分のアンコンシャス・バイアス」の項目について
- ②現状と理想の状態の差の要因、また、その解決及び改善の手段について
- ③持続可能な通関士であるために、ダイバーシティを推進させることは必要か
- ④これからどんな働き方をしていきたいか

の4つのテーマについて、それぞれ職場における現状と問題点・課題等を発表していただきました。

参加者の勤務先における課題や問題点、改善策等を共有することができ、非常に有意義な会議となりました。



参加者全員の集合写真です。



グループによる意見交換会の様子です。



午後の部 見学会（清須城）

世界遺産・縄文遺跡

函館通関業会

2021年7月27日、北海道及び北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されました。

北海道では2005年7月17日に「知床」が世界自然遺産に登録されて以来のことになります。登録された縄文遺跡群のうち北海道南西部の函館市南茅部地区に所在する縄文遺跡をご紹介します。北海道の雄大な自然の中で遺産群を巡り寛ぐのはいかがでしょうか。

縄文遺跡群

北海道・北東北の縄文遺跡群は、北海道6遺跡、青森県8遺跡、岩手県1遺跡、秋田県2遺跡の合計17遺跡で構成されています。

縄文時代を彷彿とさせる植生や地形など、豊かな

自然環境が保全されている遺跡が数多くあり、縄文時代の人々の暮らしに思いを馳せるとともに、四季折々の表情やイベントが楽しめます。

『垣ノ島遺跡』：北海道函館市臼尻町

かきのしま
垣ノ島遺跡は、縄文時代早期前半から後期後半（紀元前7,000年～1,000年頃）の約6千年間にわたる定住を示す集落遺跡で、これまでの調査によって時期毎の集落の変遷や特徴が捉えられるとともに、地域の拠点だったことが窺えます。

垣ノ島遺跡を代表するのは、盛土遺構で縄文時代前期末から後期初頭（紀元前3,000～2,000年前後）

にかけて構築された「コ」の字形を呈する長さ190m以上の大規模なものです。中央の小高い「小丘部」を中心に、盛土が3方を取り囲んでいて、南西と南東の盛土の間の「接合部」は通路とみられます。

盛土遺構は祭祀・儀礼の空間である「送り場」と考えられ、当時の社会性や精神性を示す遺構として、今なお視覚的に確認できる重要な記念物です。

■ 赤漆塗り注口土器

土器表面は黒漆の上に鮮やかな赤漆が塗られた鮮やかな朱漆色で、土器本体は、高さ11.5cm、胴体部は直径10.4cm、球形で上部が緩やかに盛り上がった急須状の形状で、注口は1ヶ所。

洗練された形状と漆塗りの加工技術、土器表面の文様加工により精製土器に分類され、祭祀用の酒を注ぐのに使用されたのではないかとされています。

垣ノ島遺跡の住居址から完全な状態で出土しました。



『著保内野遺跡』：北海道函館市南茅部町

著保内野遺跡は、1975年農作業中の主婦が偶然に掘り当てた土偶をきっかけに発掘された縄文時代後期後半の遺跡です。2006年に遺跡の再調査が実施され、直径6mの環状配石遺構と土坑墓群と思わ

れる遺構が発見されました。土坑墓の1つからヒスイの勾玉1点と漆櫛の残片が出土し、今からおよそ3,500年前のものであることが確認されました。

■ 中空土偶

土偶は、高さ41.5cm、幅20.1cm、重さ1.745kgで内部が空洞になっており、最も薄いところで暑さ数ミリという精巧な作りが特徴で、「中空土偶」としては国内最大級のもので

す。1979年に国の重要文化財に指定され、2007年には北海道唯一の国宝に指定されています。

全身に○や△で構成された繊細な幾何学文様が施され、ふっくらとしたフォルムや妊娠線など女性的な表現に加え、髭や眉など男性的な表現が混在するという特徴的な姿をしています。



国宝「中空土偶（カックウ）」

『大船遺跡』：北海道函館市大船町

大船遺跡は、渡島半島東岸の函館市南茅部地区に所在し、大舟川沿岸の標高30～50mの海岸段丘上に立地します。縄文時代前期から中期末葉（紀元前3,500年から2,000年頃）

遺跡は、100棟を超える竪穴建物跡からなる居住域と盛土があり、その南西には墓や貯蔵穴を含む100基以上の土坑群が確認されています。

■ 復元竪穴住居

竪穴住居は、縄文時代につくられた住居の形態です。

地面を円形や方形に掘って床とし、柱を立て骨組みを作りその上に土やヨシなどで屋根を葺いた建物で、床には炉が設けられています。

クリの木を使い、竪穴住居の骨組みを再現したものです。

竪穴建物跡は、床を深く彫り込んだ大型のものが多く、深さ2mを超えるものもあります。盛土からは膨大な量の土器や石器、焼土などが出土しており、長期間継続して祭祀・儀礼が行われていたと考えられています。

この遺跡は、定住発展期後半の祭祀場である大規模な盛土を伴う拠点集落であり、沿岸地域における生業と精神生活の在り方を示す重要な遺跡です。



函館市縄文文化交流センター

北海道で唯一の国宝「中空土偶」を常設展示する博物館で、世界遺産「埴ノ島遺跡」に隣接しています。函館市の市街地から北東へ約30kmに位置し、南茅部縄文遺跡群の中心に、市内に点在する縄文遺跡から出土した土器や石器などの資料を、4つの展示室で紹介しています。地域の観光情報や特産品、道路状況などを発信する「道の駅・縄文ロマン南かやべ」が併設されています。



土器等の出土品を展示する展示室

函館市縄文文化交流センターから北へ16kmに、道の駅しかべ間歇泉公園があり、公園内では約10～15分間隔で1回500ℓの温泉が15mほど噴き上がるのを見ることができます。

また、噴き上がった温泉を利用した足湯も整備されています。



温泉を噴き上げる鹿部間歇泉

縄文時代

旧石器時代に続く、今から約1万5千年～2,400年前の日本の歴史区分。当時作られた土器に縄目の文様がつけられていることが「縄文」の由来。古い方から草創期、早期、前期、中期、後期、晩期の6時期に区分される。日本列島はドングリやクリなどの森が広がり、人々は主に採集、漁労、狩猟によって暮らしを営んだ。土器の発明で食べ物の煮炊きや保存が可能になり、食材も幅広くなった。定住が進み大きな集落（ムラ）がつくられ、地域間の交流も盛んに行われた。各地で漆器や装身具、祭祀に使われる土偶などがつくられ、豊かな精神世界を持っていたことがうかがわれる。

本州ではその後、弥生時代に移行するが、北海道では縄文を受け継ぐ縄文時代へと続いた。縄文時代を巡っては、北海道と北東北3県の17遺跡で構成する「北海道・北東北の縄文遺跡群」が2021年、世界文化遺産に登録された。

出典：「北海道・北東北の縄文遺跡群」HP、「函館市公式観光情報」HPから引用

各通関業会業務報告

東京

- 6月5日 新潟通関協議会
6日 前橋通関協議会総会
7日 密輸撲滅キャンペーン（新潟地区）
// 東京税関AEOセンター職員との意見交換会（東京通関士部会主催）
14日 二水会・役員会
// 本関通協女性部会
15日 大井通協女性連絡会
16日 通関士部会委員会
21日 大井通関協議会
26日 ダイバーシティ推進部会WT会合
27日 本関通関協議会
7月11日 本関通協女性部会
20日 関税協会東京支部総会・講演会、三団体会員懇談会
// 大井通協女性連絡会
21日 通関士部会委員会
25日 本関通関協議会
28日 東航通協・東航地区保税会合同意見交換会

横浜

- 6月5日～
9日 第103回通関従業者業務研修会
6日 本関地区通関協議会
14日 三役会
// 宇都宮地区通関協議会
15日 宮城地区通関協議会
// 川崎地区通関協議会
20日 千葉地区通関協議会

- 26日 ダイバーシティ推進部会ワーキングチーム（WT）会合
28日 総務委員会
29日 情報委員会
7月11日 本関地区通関協議会
12日 業務委員会
13日 宇都宮地区通関協議会
19日 千葉地区通関協議会
20日 川崎地区通関協議会
// 宮城地区通関協議会
27日 理事会・会員懇談会

神戸

- 6月8日 EPA利活用セミナー（神戸税関主催、神戸通関業会共催）
15日 通関士部会 総務委員会（WEB）
20日 通関時報5月号発行
21日 第3回女性通関士会役員会（対面）
23日 通関士部会 定例役員会（対面&WEB）
// 東京通関士部会との意見交換会（対面）
26日 ダイバーシティWT会合（連合会主催）
7月13日 通関士部会 総務委員会（対面&WEB）
20日 通関時報7月号発行
31日 通関士部会 定例役員会（対面）
// 神戸税関業務部との通関連絡協議会（対面）

大阪

- 6月15日 通関士部会 地区代表者会議
// 第53回通関士部会 定時総会
18日 密輸撲滅合同キャンペーン

- 18日 不法就労・不法滞在防止のための指導啓蒙活動(大阪メトロ「大阪港駅」周辺)
- 21日 通関士部会 総務委員会
 // 通関士部会 業務委員会
 // 通関士部会 システム委員会
 // 通関士部会 役員会・税関業務担当者との連絡会議
- 28日 大阪地区通関協議会(税関との通関事務連絡会、定例会、役員会)
- 7月19日 通関士部会 総務委員会
 // 通関士部会 業務委員会
 // 通関士部会 役員会・税関業務担当者との連絡会議
- 26日 大阪地区通関協議会(税関との通関事務連絡会、定例会、役員会)

名古屋

- 6月1日 輸出入商品分類研修(空港)
 2日 通関非違防止対策研修
 6日 清水支部奇六会・通関懇談会
 7日 理事会・一水会(理事・監事)
 8日 関税評価実務研修
 13日 本関通関事務研究会
 // 第3回通関士セミナー(連合会)(オンライン)
 14日 四日市支部通関士及び通関従業者研修
 15日 通関士部会幹事会
 // 通関業務BCP勉強会
 // 清水支部通関事務研究会
 16日 関税評価実務研修(空港)
 // 清水支部焼津通関事務担当者連絡会
 19日 諏訪地区通関懇談会
 // 長野地区定時総会
 20日 清水支部通関士部会定例会
 // 清水支部興津通関事務担当者連絡会
 // 清水支部沼津通関懇話会
 21日 輸出入商品分類研修

- 21日 中部空港通関事務研究会
 // 清水支部浜松通関懇話会
 22日 西部通関事務研究会
 // 清水支部田子の浦通関事務担当者連絡会
 // 清水支部御前崎通関事務担当者連絡会
 豊橋地区通関事務研究会
 26日 ダイバーシティ推進部会ワーキングチーム会合(連合会)
 27日 四日市支部通関事務研究会
 // 四日市支部通関士部会幹事会
 29日 名古屋通関業会女性通関士会議
 7月11日 本関通関事務研究会
 // 通関士部会幹事会
 12日 食品衛生法研修
 13日 植物防疫法研修
 18日 清水支部通関士部会定例会
 // 清水支部沼津通関懇話会
 19日 通関業者のための輸出入禁止品概要研修
 // 中部空港通関事務研究会・意見交換会
 // 清水支部第3回奇六会
 // 清水支部浜松通関懇話会
 20日 西部通関事務研究会
 // 清水支部通関事務研究会
 // 豊橋地区通関事務研究会
 25日 清水支部興津通関事務担当者連絡会
 // 四日市支部通関事務研究会
 // 四日市支部通関士部会幹事会
 // 諏訪地区通関懇談会
 27日 清水支部田子の浦通関事務担当者連絡会
 // 清水支部御前崎通関事務担当者連絡会

門司

- 6月2日 会員周知「NACCS関連資料」の送付(NACCSを快適に利用いただくための機能紹介第14回)
 8日 会員周知「外国為替及び外国貿易法に基づく安全保障貿易管理」について

- 9日 NACCS研修（オンライン）開催案内
発出
日本関税協会門司支部と共催
- 13日 令和5年度門司通関業会役員会
- 14日 令和5年度門司通関業会定時総会の開
催案内発出
- // 会員周知「医薬品、医療機器等の品質、
有効性及び安全性の確保等に関する法
律における輸入規」について
- 19日 ダイバーシティ推進部会WT会合事前
打合せ
- 22日 会員周知「令和5年度ヒアリ講習会の
開催」について
- 26日 ダイバーシティ推進部会WT会合
(連合会)
- 27日 会員周知「通関士模擬試験の受験案内」
- 28日~30日 NACCS研修（オンライン）
日本関税協会門司支部と共催
- 30日 会員周知「博多税関支署の通関事務処
理体制の一部変更」について
- 7月4日 会員周知「安全保障貿易管理」について
- 7日 NACCS研修（海上保税・会場通関：
中級者向け）開催案内発出
- 19日 令和5年度門司通関業会定時総会
- 26日 会員周知「輸入申告項目・税関事務管
理人制度の見直し」について
- 28日 門司通関士部会大分支部定時総会

長 崎

- 6月1日 令和6年輸出統計品目表及び輸入統計
品目表の改正に係る要望調査について
- 7日 外国為替及び外国貿易法に基づく安全
保障貿易管理について
- 13日 医薬品、医療機器等の品質、有効性及
び安全性の確保等に関する法律におけ
る輸入規制について
- 22日 ヒアリ講習会開催案内の周知について

- 28日 通関士模擬試験の受験案内
- 7月5日 安全保障貿易管理について
- 3日 通関業法基本通達の改正について
- 10日 「輸入申告項目の追加及び税関事務管
理人制度の改正」の税関HPへの掲載
について
- 19日 長崎通関業会定時総会
- 25日 長崎地区通関事務連絡協議会
- 31日 ロシアに対する輸出禁止措置について
- // NACCS通信（通関15）の配信
- // 通関非違事例（4~6）の配信

函 館

- 6月8日 函館通関業会 令和5年度定時総会(函館)
- 15日 北海道経済産業局「経済安全保障セミ
ナー in Sapporo」
- 20日 ダイバーシティ通関士部会 in Hakodate
- 21日 会員周知：令和5年度ヒアリ講習会の
開催について
- 22日 会員周知：高度外国人活用セミナー&
事業説明会のご案内
- // 通関業務連絡会（函館・小樽・千歳・
札幌・釧路・苫小牧・石狩・八戸・秋
田船川)
- 7月4日 会員周知：安全保障貿易管理について
- // 会員配布：函館税関通関担当官一覧表
の配布
- 5日 調査依頼：令和6年輸出統計品目表及
び輸入統計品目表の改正に係る要望調
査について
- 10日 調査依頼：令和5年会員名簿の作成に
ついて
- 25日 通関業務連絡会（函館・小樽・千歳・
札幌・釧路・苫小牧・石狩・八戸・秋
田船川)
- 27日 調査依頼：ダイバーシティに関するア
ンケート調査について

沖 縄

6月16日 第51回定時総会
// 令和5年度第1回理事会

7月14日 日本関税協会沖縄支部総会
25日 令和5年度第2回通関連絡会



貿易関連書類電子保管業務

NACCS-DMS®

NACCSで 書類の電子保管 始めませんか？

お客様の声

- ★紙保管から電子保管に移行し、業務プロセスが改善した!!
- ★紙・トナーに掛かるコストが減り、事務所も片付いた!!
- ★営業部門も利用することにより、リアルタイムで情報が社内共有出来るようになった!!
- ★段ボールから書類を探す手間が無くなった!!
- ★書類廃棄費用や廃棄作業が大幅に減少した!!



通関業者様

サービスイメージ



お問い合わせ先



一般社団法人 日本通関業連合会 一般社団法人 日本通関業連合会 業務部
Japan Customs Brokers Association 電話 03-3508-2535 / メール n-dms@tsukangyo.or.jp



輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社 営業企画部 営業推進課
電話 03-6732-6130 / メール solution-pro@naccs.jp



詳しくは
NACCS掲示板を
ご覧ください



サービスのご紹介やデモンストレーションの実施を随時受付けております。
お気軽にお問い合わせください！

輸入申告項目・税関事務管理人制度の見直しについて

越境電子商取引の拡大に伴い、通販貨物等の輸入が増加し、不正薬物や知的財産侵害物品等の密輸が多数摘発されています。FS利用貨物については不当に低い価格で輸入申告することで関税等をほ脱するという脱税事案が顕在化しています。

そのような背景を踏まえ、引き続き円滑な輸入を確保し、水際取締りの実効性の確保及び適正な課税を実現するため、制度の見直しを行いました。

【FS（フルフィルメントサービス）利用貨物とは】

ECプラットフォーム運営事業者等が提供するフルフィルメントサービス（購入者の注文受付から配送完了までの一連の業務全般（受注、在庫管理、梱包、発送、受渡し、代金回収等）を請け負うサービス）を利用して国内で販売することを予定して輸入しようとする貨物のこと。

改正の内容①（令和5年10月1日施行）

- 輸入申告時に記載を求めている「輸入者の住所及び氏名」を関税法施行令上の輸入申告項目に追加
- 上記「輸入者の住所及び氏名」の追加に伴い、輸入申告者（貨物を輸入しようとする者）の意義を明確化 ⇒裏面参照
- 税関事務管理人の届出項目への「届出者と税関事務管理人との関係」等の追加及び税関事務管理人届出の際の税関事務管理人との委任契約関係書類の提出
- 税関長が非居住者等に税関事務管理人の選定・届出等を要請し、非居住者が期限までに要請に応じない場合に、税関長が、非居住者の一定の国内関連者を税関事務管理人として指定することを可能とする規定を整備

改正の内容②（令和7年10月12日施行）

輸入申告項目に以下の項目を追加

- 通販貨物に該当するか否か
- 通販貨物に該当する場合、プラットフォームの名称・呼称等
- 輸入許可後の貨物の運送先の所在地・名称

※ NACCSによるシステム申告の詳細については、今後お知らせします。

【関係法令：輸入申告項目（施行後）】

- 関税法施行令第59条、関税法施行規則第7条の6

【関係法令：税関事務管理人（施行後）】

- 関税法第95条、関税法施行令第84条、第84条の2、関税法施行規則第11条の2、第11条の3



「適正かつ公平な関税等の徴収」、「安全・安心な社会の実現」、「貿易の円滑化」

税関HP：<https://www.customs.go.jp>



〔 輸入申告者の意義の明確化 〕

輸入申告者（貨物を輸入しようとする者）は、輸入貨物に係る情報を把握して、責任をもって適正な輸入申告を行う必要があることから、関税法基本通達の規定により輸入申告者の意義を明確化しましたので、輸入申告時にはご注意ください。

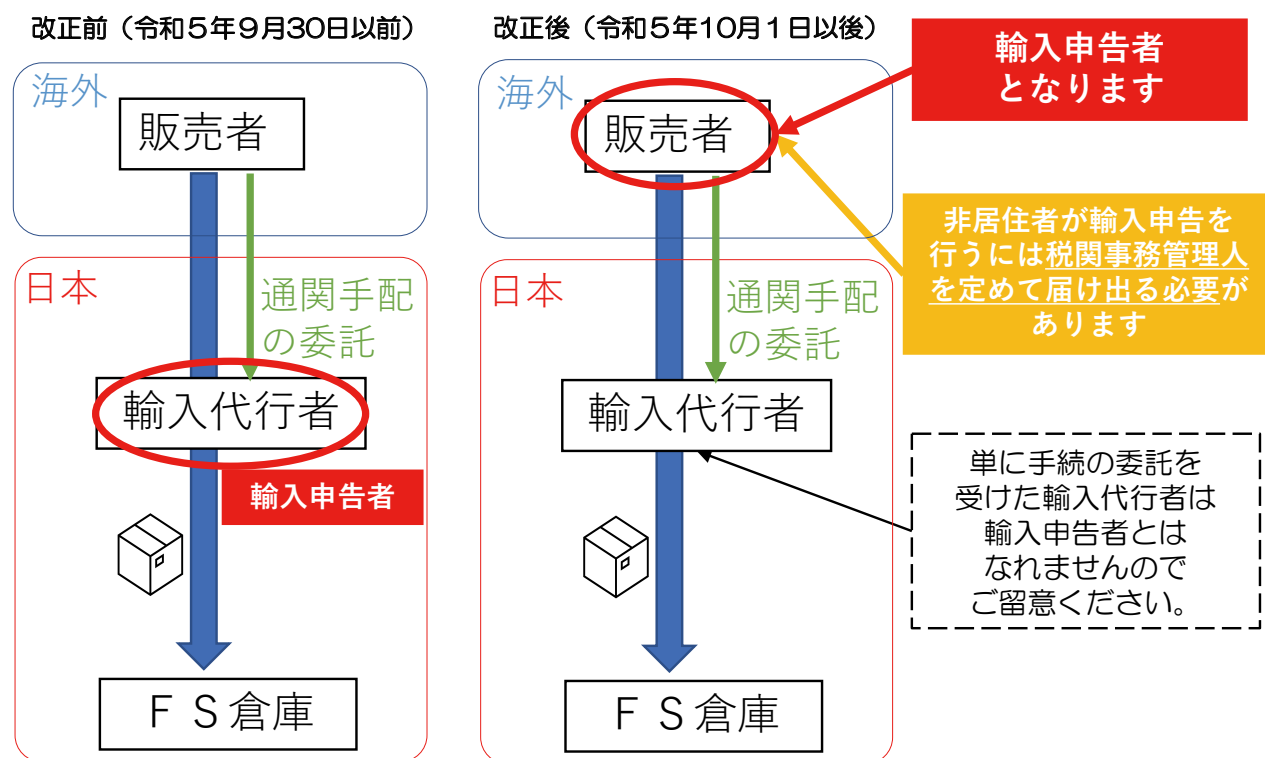
通達改正の内容（令和5年10月1日施行）

- 輸入取引により輸入される貨物については、関税法基本通達6-1(1)に規定する「貨物を輸入する者」と同様とする。
- 上記以外の場合には、輸入申告の時点において、国内引取り後の輸入貨物の処分の権限を有する者をいい、その者以外に輸入の目的たる行為を行う者がある場合にはその者を含むものとする。

【輸入の目的たる行為を行う者の例示】

- ・ 賃貸借契約に基づき輸入される貨物は、当該貨物を賃借して使用する者
- ・ 委託販売のために輸入される貨物は、当該貨物の販売の委託を受けて販売する者
- ・ 加工・修繕のために輸入される貨物は、当該貨物を加工・修繕する者
- ・ 滅却するために輸入される貨物は、当該貨物を滅却する者

【輸入申告者が変更になる例】



これらの制度改正に係る情報及びお問い合わせ先は、税関HPへ掲載（右記QRコード）しておりますのでご参照ください。





発行所：一般社団法人 日本通関業連合会

東京都港区虎ノ門2-3-20 虎ノ門YHKビル8階
TEL: 03-3508-2535 FAX: 03-3508-7796
E-mail: jcba@tsukangyo.or.jp
URL: <https://www.tsukangyo.or.jp/>



編集兼発行人：中 洲 亨

※本会報からの転載については、あらかじめご連絡下さい。